



川柳カルタを作しましょう!

川柳を大募集!

NPO 法人なす食育塾では今回、川柳カルタを作ります。高齢者の食生活、健康、生きがい等をテーマに、お年寄りが思わずニヤリとしたり、「うんうんあるある!」といった、そんな楽しいカルタができたかと考えています。

市民の方々から広く川柳を募集します。皆さんと一緒にカルタを作しましょう!!

募集要項

※テーマ・高齢者の食生活、健康、生きがい等

※募集期間・5月15日から6月30日

※応募先・NPO 法人なす食育塾

こちらの QR コードから⇒

E メール info@nasu-shokuiku.jp

ファックス 0287-63-3395

※応募に当たって

・川柳・お一人様何句でも

・住所、氏名、年齢、連絡先をお書きください

※お断り

応募いただいた川柳はそのまま採用とはなりませんことをご承知おき下さい。五十音の縛りもあることから編集委員会で決定いたします。

応募いただいた方
全員にカルタを進呈
させていただきます

食育くん まじん



食育コラム No.51

「ママの卵焼き、おいしい!」と、次女が言っていたと夫から聞いた。

次女はソフトボールに専念するため、4月に入学した高校の近くで下宿生活を始めた。「体が資本だから」と三度の食事は下宿の老婦人が用意してくれ、私の実家の母も孫のために、米1俵を持たせてくれた。おかげでしっかりご飯を食われているようだ。

それでも夫が試合の観戦に行くときは、私が家で作った弁当を夫に持たせ、会場で次女に渡してもらっている。帰宅した夫が空になった弁当箱を私に手渡ししながら、「下宿の卵焼きは甘すぎるんだってさ」と、笑った。卵にきび砂糖、だしと味醂を適量に入れて作る私の卵焼きは、何の工夫も特徴もないものだけど、次女にとってはきっちとちょうどいい味加減だったのだろう。

5月第2週の日曜日は関東大会をかけた大会が開催され、私も弁当を作り観戦に行った。初めての公式戦に出番は無いが、球拾いやバット引き、グラウンド整備をしながら休みなく働く次女を目で追いながら、その背中に「がんばれ」と声援を送る。休憩時間、たまにはパンも食べたかろうと思い作った卵サンドを頬張りながら私に向かって何かを言った。離れていて声は聞こえなかったが、口は「うまい」と動いていた。「女の子なんだから”うまい”じゃなく”おいしい”でしょ」と心の中でいつもの小言を言いつつ、母の日にどんな感謝の言葉よりも嬉しい一言をもらった気がした。

(佳代)